



今年のアカデミー賞、外国語映画部門を受賞したので、みなさんよくご存知と思いますが、昨年『おくりびと』という映画が公開されました。ご覧になった方も多いと思います。私（若院）は9月に映画館に観に行きました。本木雅弘さん演じる主人公は小さなオーケストラでチェロを弾いていましたが、オーケストラが解散になってしまい、失意のうちに地元に戻り、仕事を探している、「旅のお手伝い」という求人広告が目に残りました。ところがそこは山崎努演じる怪しいおじさんの経営する納棺の仕事でした。そして奥さんや知人に蔑まれながらもいろいろなご遺体と接していくうちに、人の死というものに対して深く考えるようになり、納棺の仕事にも誇りを持つようになっています。

笹野高史演じる火葬場のおじさんが、銭湯

で本木さんに言います。「死は誰もが通る門のようなものだ。」これはそのまま、「死は終わりではない」と受け取れます。このセリフを聞いたとき、私は金子みすゞさんの『お佛壇』という詩を思い出しました。

『お佛壇』

お背戸せとでもいだだ橙だいだいも、
町のみやげの花菓子はなかしも、
佛ほとけさまのをあげなけりや、
わたしたちにはとれないの。

だけど、やさしい佛ほとけさま、
ぢきにみんなに下さるの。
だから私はていねいに、
両手をかさねていただくの。

家にやお庭はないけれど、
お佛壇にはいつだつて、
きれいな花が咲いてるの。
それでうち中あかるいの。

そしてやさしい佛ほとけさま、
それも私にくださるの。
だけどこぼれた花びらを、
踏ふんだりしてはいけないの。

朝と晩とおばあさま、

いつもお燈明あかりあげるのよ。
なかはすつかり黄金きんだから、
御殿ごてんのやうに、かがやくの。

朝と晩とに忘れずに、
私もお禮れいをあげるのよ。
そしてそのとき思ふのよ、
いちんち忘れてゐたことを。

忘れてゐても、佛ほとけさま、
いつもみてゐてくださるの。
だから、私はさういふの、
「ありがと、ありがと、佛ほとけさま。」

黄金きんの御殿ごてんのやうだけど、
これはちひさな御門ごもんなの。
いつも私がいい子なら、
いつか通つてゆけるのよ。

現代の日本は「生きること」がすべてで、最も大切で、善であり、「死」は忌み嫌われるもので、敗北で、悪でさえあるかのごとく扱われています。仏教では「生死しやうじ」といい、生と死は別物ではなく一体なのです。まだまだ書きたいのですが、今号は書かなければいけないことがいっぱいあるので、泣く泣くここで終わります。次号に続く！ので、待つていてください。

「前任職・前坊守年忌法要」

来る**6月4日(木)**、前任職の三十三回忌と前坊守の二十五回忌を、永代経法要とともに厳修いたします。みなさんお誘い合わせのうえお参りください。

■永代経法要

午前10時より 法話 当山若院

■前任職・前坊守年忌法要

午後2時より 法話 奥田順誓師

「仏教壮年会大会福井で開催！」

来る**6月28日(日)**にサンドーム福井にて、北陸中部仏教壮年会大会が つなぐわれらゝ自らの生き方をみ教えに聞き ともに お念仏申す今を歩もうとというテーマで 大々的に開催されます。ご門主様もご臨席 になりますよ。

■記念法話

若原 道昭 氏 (龍谷大学学長)

■記念講演

舞の海秀平 氏 (元小結・解説者)

■アトラクション

楽衆玄達 (福井を代表する音楽集団)

と、内容も盛りだくさんです。参加費は5千円ですが、記念誌と記念品と、なんとお昼ご飯もついています。各寺5人限定ですの

で、お早めにお申し込みください。お友達とご一緒でももちろん結構です。会場までは私が送迎いたします。

「おかみそり。済んでますか？」

みなさんは仏教徒ですか？そして浄土真宗の門徒ですか？と聞いたたら、「何を今さら」とおっしゃられるかもしれません。それなら、おかみそり(正式には帰敬式ききょうしきといい門徒が仏弟子となることを宣誓する儀式)をされていますか？法名「釋○○」をいただいているらつしやるでしょうか。

帰敬式ききょうしきは通常、本願寺の晨朝じんじょう・日没法要にちもつの後に行われ、門主もんしゅもしくはお手代わりの僧によつて門徒の頭にかみそりを三度当てて、剃髪の様子を擬して、仏門に帰依し、門主からの法名をいただく儀式です。それがなんと、今年には福井で受けられますよ！

7月7日(火)に、新門様しんもん(現ご門主様の長男)が吉崎別院、福井別院にご巡拝じゆんぱいになられます。ぜひお参りしておかみそりを受けられませんか？それとも、お葬式のときにおかみそりをされますか？

ご希望の方は、寺までご連絡ください。各会場先着100名となっております。お急ぎください。会場へは私が送迎いたします。

「西光寺役員会開催さる！」

去る4月13日(月)に当山にて西光寺護持会の役員会が開催されました。ご門徒様には昨年度の決算書と本年度の予算書が同封されています。必ずご覧ください。なお、営繕費の23万円の

内訳ですが、傷みの激しかつた七條袈裟しちじょうけさの裏地の修復と、本堂の後堂で使うお灯明の準備台(いままでありません



でした)を購入させていただきました。写真は黒くて見にくいかもしれませんがお灯明台です。天板を開けると蝋燭ろうそくが準備できます。前面には引き出しと扉があり、今までのように腰をかがめずに準備できます。どうも有り難うございました。

「吉崎別院修繕懇志のお願い」

前号にてお願いをいたしましたところ、多くのご門徒様より懇志をいただき、誠に有り難うございました。引き続き、まだの方はよろしくよろしくお願いいたします。

「彼岸会が厳修されました」

去る3月22日(日)に当山の彼岸会を厳修いたしました。それではまた。 合掌